

(様式第1号)

## 自己評価及び外部評価結果票

### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4171100144		
法人名	社会福祉法人 久栄会		
事業所名	グループホーム いしなり		
所在地	神埼郡吉野ヶ里町石動 3291番地 1		
自己評価作成日	平成27年1月24日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.espa-shiencenter.org/preflist.html">http://www.espa-shiencenter.org/preflist.html</a>
-------------	---

### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	社会福祉法人 佐賀県社会福祉協議会		
所在地	佐賀県佐賀市鬼丸町7番18号		
訪問調査日	平成27年2月10日	外部評価確定日	平成27年3月9日

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

“旧グループホーム石動”の老朽化に伴い、今年3月に佐賀県産の木材を多く利用した、自然に優しく、木の温もりのある“新・グループホーム いしなり”へ移転しました。旧施設からは徒歩1分もかからない場所で、地域の方の顔ぶれも変わらず、以前から参加している地域の敬老会、総会、クリーンデイなどの行事にも利用者様と一緒に参加をし、また施設の消防訓練の協力も積極的にしていただいたりと、地域との友好関係も築かれています。新施設に移転してからは近所の子供達も遊びに来るようになり、利用者様との交流も一段と深まっています。また、利用者様に対しては自立支援を目指したケアを実践し、同事業所内の理学療法士による個別の機能訓練を行ったり、デイサービスでの音楽リハビリやカラオケ、事業所内の合同レクリエーションへの参加も積極的に行っています。職員一同、愛情を持って自然体でその人らしさを尊重しながら、最期まで安心して頂き生きがいを持って生活できるように介護に努めています。

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

東脊振高速道入り口から300メートル程で、385号線に面した所にある木造平屋建ての新築のグループホームです。利用者が集うリビングと食堂は南面に設えてあり、三方がガラス戸で明るく、また、ウッドデッキのテラスは広く取ってあり、晴天の時にはテーブルを置き、お茶やランチを楽しみ、外部の風景を楽しむ事ができる。中央廊下は天井が高く、自然の採光を取り入れた造りとなっている。施設長がこの石動(いしなり)地区の出身なので、ご近所の家庭菜園のエキスパートさんが、何時も季節の野菜を届けて下さり、利用者との交流が出来る。また、1キロ程離れた同一法人のデイサービス事業所での音楽リハビリに出掛けたり、理学療法士による個別の機能訓練を受けたり、3事業所と持ち回りで、カラオケや合同レクリエーションを計画し、利用者が充実した日々が送れるよう支援している。

# 自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	地域密着サービスを踏まえた理念を作り、話し合いに基づき、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている。	利用者が、地域の中で安心して、本人本位のその人らしい暮らしが続けられる支援を目指した理念を作成している。職員は、毎朝理念を唱和し、共有と実践に努めている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の一員として自治会に加入し区費を払っている。地域の敬老会・総会・清掃等の活動に参加している。事業所のふれあい祭り・子供連参加のスイカ割り・防火訓練に参加している。	事業所は、地域の一員として自治会に加入しており、日頃から近所の方とお付き合いの交流を図っており、地域の敬老会・総会・清掃作業に参加している。また、事業所のふれあい祭りやスイカ割り、防火訓練にも地域から多数の参加を頂いている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	事業所は地域の方参加の介護教室・敬老会等での認知症劇を通して介護の在り方の話し合いを持っている。防火訓練等見せる介護をしている。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回“運営推進委員会”を開催し、運営実態・課題を話し合い、ふれあい祭り・防火訓練等委員の方が参加される。研修会にも参加され、発表してもらっている。	行政職員・地域区長・民生委員・家族代表の多数の参加を得、2カ月に1回運営推進会議を開き、利用者やサービスの実際や取り組み状況等について報告している。会議を利用して、委員の方にも認知症や虐待、関係法令の改正等について、研修を受けてもらっている。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	行政との交流を密にし、福祉サービスの問題点等について役場担当課、地域包括センターと連絡相談、会議をなし積極的なケアサービスの取り組みをなしている。町長・議長・議員さん等、ふれあい祭り・敬老会に参加して頂き、相互に協力し連携を密にしている。	町や包括支援センターの担当者とは、日頃から情報交換や相談等を密に行っている。また、町長や議長、議員も行事の度毎に来所戴き、施設への理解と、連携を深めてもらっている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	玄関、利用者の各部屋には施錠はなく、職員による見守りを徹底し、帰宅願望時には制止することなく、さりげなく声掛けし、外出時には同行する。	職員は、身体拘束の弊害を良く理解しており、見守りを徹底して、日中は玄関や居室の施錠もしていない。外出時にも抑止等せずに、さりげなく付き添っている。地域住民による見守りの協力も得られている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることがないように注意を払い、防止に努めている	管理者・職員は高齢者虐待法に基づいて、カンファ・勉強会・研修会で学ぶ機会を持ち、利用者の虐待が見逃されないように注意を払い、虐待防止に努めている。		

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	管理者や職員は毎月1回の勉強会や園内研修に参加し、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学び、家族や関係者と話し合いを持ち、それら出来るように支援している。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約に関する説明は、入居前に利用契約書、重要事項説明書について説明を行い話し合いを行っている。疑問点、不安を含めて理解、納得を得て書面を渡し後日でも話しを聞くようにしている。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	日々家族の面会時や各行事等で常に問いかけ気軽に話せる雰囲気を作っている。家族会の時にはアンケートを取り玄関には意見箱を設置している。意見、要望等はカンファレンスにて話し合い反映している。	運営推進会議には、家族代表の参加があり、また、家族会を年2回実施しており、アンケートでの意見や要望については、職員で協議して運営や支援に反映させている。日々の家族の面会時や行事等の参加の際にも、気軽に話掛け出来る雰囲気作りをしている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員の疑問や意見、要望を言いやすい職場作りに努めつき1回のカンファレンスにて行事等の議案討議、反省会を行ったり年2回の個人面談を行い職員の意見を聞き改善に努め反映している。	代表者や管理者は、日頃から職員との意思の疎通を図っており、毎月の職員会議や研修会、行事等の検討会時には、各職員が意見や要望を言い易い職場作りに努めている。また、年2回代表者・管理者等による個人面談を実施しており、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	代表者は職員個々人の勤務態度、業務の自己評価に基づく職員との面談により把握し、人事考課を行い賞与に反映させ職場の環境条件の整備に努めている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	代表者は外部評価を始め法人内でも園内研修や全体勉強会を行うとともに職場におけるトレーニングを通じて一人一人のケアの質を高めるよう努めている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	代表者はグループホーム協会等の研究発表会や家族発表会等の研修先にてグループトークなどに参加を行い他の事業所との交流を図っている。		

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	本人様や家族の要望、不安な点を利用者や家族様から傾聴し管理者、ケアマネージャー、職員と共に把握し、必要とされる支援を行い安心していただける関係作りに努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	サービス利用前に、管理者ケアマネージャーが家族との話し合いを行い、また、施設内を見学していただいている。入所当初は家族訪問をして頂き利用者の状況を理解していただくように努め納得して入所されている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	管理者及びケアマネージャーが本人、家族と話し合い、必要とする支援を見極め職員との介護を共有し、法人内外のサービス利用を含めサービスに努めている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	利用者様から畑仕事や料理の面で教えて頂く事が多くあり、利用者と職員とが支え合える関係が日頃より見られ、その関係を大切にしている。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	理念を基本として家族との連絡をよく取り面会にも来ていただき、受診や外出、家族会などの行事の機会において、共に本人を支えていけるように努めている。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	本人の気持ちを尊重し、家族の協力を得て自宅への外出や外泊の支援をしており、人や場所との関係が途切れないように行っている。	日用品や食材の買い物に利用者を同行し、馴染みの店や場所へ出掛けて関係が途切れないよう支援に努めている。また、家族の協力を得て、理美容室や自宅へ行ったり、外泊等を実行している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	一人ひとりをしっかりと把握し、座席の工夫や家事を行ううえで分担して行えるように工夫して利用者同士が関われるように努めている。また、不足しているところを補ったりと、支えあっている関係が持てるようにしている。		

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	ご本人様が退所された後も、ご家族様が訪ねて来て下さったり、相談に見えて下さったりと、良好な関係を築かせていただいている。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日常生活の中で画一的でなく、一人ひとりの想いや希望に添えるように、ご家族様の様子確認を通して、満足していただけるよう努めている。	日々の関わりの中で、利用者とゆっくり向き合う時間を持ち、言葉や表情等からそれとなく思いや希望、意向の把握に努めている。困難な場合には、家族等からの情報を得て本人本位に検討している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご本人様やご家族、お友達を通じ、これまでの生活歴等の情報収集に努めたり、これまでに使われたサービス等での経緯の把握、ご本人様との会話の中からも出来るだけ情報を引き出せるよう努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人ひとりの利用者様の気持ちに寄り添いながら、一人ひとりの想いや心身の状況を把握できるように、毎日(各時間帯)での申し送り、ケース記録、カンファを通して全職員の情報の共有を図ることで、現状把握に努めている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人様の希望や意欲を尊重しつつ、ご家族様の意見や希望をうかがえる機会を持ち、そこで得られた事柄について、カンファレンスで話し合い、情報の共有と、その時々に応じた介護計画を作成している。	利用者本人やご家族には日頃の関わりの中から希望や意欲を把握し、反映させるようにしている。職員全員で意見交換やモニタリング、カンファレンスを行い、情報の共有を図り、その時々に応じた介護計画を作成している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子や気付きは、ケース記録と介護計画に基づき、サービス計画書で記録しており、気づきや変更ある場合は、その都度カンファレンス等での意見交換や、情報の共有を図り、介護計画の見直しに活かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	一人ひとりの変化や、その時々に応じ、臨機応変に対応できる支援を行うよう努めている。		

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域で催されてる行事に参加し、また地域の方に来園してもらい交流を図っている。日々の日常生活が地域住民の一人として地域に根付いた安心安楽な日常生活を支援している。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	病院受診は基本的に、ご家族様が希望される病院に受診を行っている。地域の医療機関と訪問診療を頼み、スタッフ、看護師により情報交換を密に行っている。また緊急時の体制を確保出来ている。	病院受診は、基本的にご家族の希望される病院の受診としている。町内の協力医院から2週間に1回の訪問診療が実施され、24時間対応可能であり、緊急時の体制も確立されている。看護職員による医療機関との情報交換を密に行っている。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	日常の業務を通して利用者様1人1人の健康状態の把握に努めている。些細な変化でも私達スタッフや看護師に情報交換し、迅速な処置を心がけている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	利用者が入院されたとき、ご家族の意見を尊重しながら利用者も安心して、適切な治療を受けている。入院先に出来るだけ訪問し、利用者の様子観察とできるだけ早期退院できるよう医師との相談連携を図っている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化した利用者について、同意書を書いて頂いてます。ご家族様、主治医、看護師を招いて、担当者会議を開く。看護、介護についての今後の方針を共有、医療との連携を図っている。	入居時に本人や家族に対し、重度化した場合や終末期のあり方について同意書を頂いているが、その都度毎に意思確認を行っている。医療機関と連携して今年度3人のターミナルケアを行った。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	全職員は定期的に消防署で「救急講習会」に参加し、「緊急時の対応、心肺蘇生、人口呼吸法」等の知識、技能向上に努めている。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	昼夜を想定した避難訓練は年に2回実施。その際、地域住民と一体になった訓練を行っている。	昼夜を想定した火災避難訓練を年2回実施している。町内の区長さんはじめ、地域住民の多数の協力の下、避難介助や見守り、ベット毎の救出避難訓練等に参加してもらっている。また、事業所近くに消防分署も設置された。地域としての避難場所は、町よりきらら館と指定されている。	

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	(14)	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	本人の個性を生かした支援を行う。排泄介助の際は本人の羞恥心を損なわない様に心掛ける。園便りや研修資料への使用の可否は、家族様の同意を得、プライバシーを尊重している。	職員は利用者一人ひとりを尊重した言葉かけや誇りやプライバシーを損ねない対応をしている。園だよりの写真(肖像権)についてはご家族の同意を得ている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	本人の要求や希望を取り入れ支援を行っている。職員は和やかな雰囲気作りに努めている。利用者とのコミュニケーションを図り、意見が出るよう努めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者一人ひとりの意見を尊重した対応している。日常生活に刺激を与える目的で、外食や行事参加を促し、より多くの利用者の笑顔を引き出す支援を行っている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	約二ヶ月毎の美容師の訪問にて散髪の実施をしている。希望があればパーマも可能であり、一人ひとりの個性を大事にしている。身だしなみとして男性は髭剃り、女性は爪(ネイルケア)に配慮している。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者の能力を引き出す目的で、食事の準備や片付けなどを職員と共にしている。特に女性の利用者様は昔を思い出される様で、楽しく生きがいに繋がっている。外出時の花見などでは、手作り弁当を開き、楽しみながら召し上がっていただいている。	調理に栄養士の専門職が配置され、毎日の食事やおやつが楽しみとなっている。利用者の中には、テーブル拭きやお盆の片づけ等を職員と共にしている。職員も一緒に同じ食事を摂り、介助し、談笑して過ごしている。外出時は、手作り弁当を作り持参して楽しんでいる。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	摂取量の記録は全職員が把握し徹底している。法人内の管理栄養士の献立を参考にしたり、調理法、栄養バランスに配慮している。一日一食玄米の摂取を通して便秘解消に努める。園内の畑で収穫した作物を使い、季節感を感じていただけるよう配慮している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	利用者一人ひとりに応じた口腔ケアを行い、義歯の洗浄支援も行っている。上手く行えない利用者様には仕上げのみを介助。なるべく自力で行っていただくようにしている。		

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄チェック表に基づき、定時トイレ誘導、ナースコールの利用、声掛けによる、失禁、パット、紙パンツの減少に努めている。	排泄パターンや生活習慣等に応じてトイレで排泄されるよう誘導し、支援している。日中は、布製下着利用者が3人おられ、利用者全員の排泄の自立に向けた改善を心掛けている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	昼食には玄米を取り入れ、乳製品(ヨーグルト)や、その人に適した、きざみなどを取り入れている、フルーツや、水分補給等摂取して頂く、お薬を服薬している人もおられるが服薬しないように努めている。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	利用者様の状況、要望で入浴を実施、又、入浴しない日は、清拭、足浴を実施し、清潔保持に努めている。	新築になり、機械浴槽が導入され、入浴がより楽しめるように配慮された。基本的に2日に1回の入浴としているが、一人ひとりの状況により、清拭や足浴を実施して、清潔保持に努めている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日中はレク、ドライブ、散歩など活動的に過して頂く、利用者様の体調や状況により、昼寝や休息して頂く、季節に合った温度、湿度、空気洗浄、寝具の調節をし入眠を促している、寝具は週一回、又、汚染時に交換し清潔保持に努めている、		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	利用者各人が使用している薬の目的、用法、副作用等について各職員に伝達し、またナース記録等で各職員等がその薬の内容を把握し誤訳がないように支援している。また症状の変化の確認に努め石との連携を図っている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	各利用者の生活歴や残存能力を活かした家事や畑仕事、風船バレー等のレクリエーション、誕生会、外食、歌謡ショー等の見学、参加し楽しんでもらっている。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している	毎日一回は外出する機会を設け、買い物、ドライブ、散歩、を実施、季節の行事見学、お誕生日会や、お弁当を持って外のベランダ等を使い外昼食等を実施している。	利用者の体調等に合わせながら、毎日1回は外出の機会を作るようにしている。週2回は、デイサービス事業での音楽療法や個別に理学療法士の機能訓練を受ける為に出掛けている。また、日曜日には、法人3事業所持ち回りのカラオケ会を実施して楽しんでいる。	



自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	個人的にお金を所持すると安心される方のみ、自己管理して頂いていますが利用者の能力に応じて本人が買い物できるように職員が支援している。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話の要望に関しては本人の希望に添えるように対応。手紙、年賀状は利用者の能力に応じて、作成、代筆を行っている。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共有の空間には転倒防止の為に手すり設け、清潔保持の為に毎日清掃を実施、月1回炊事場、居間、風呂場等の清潔を保つ為の清掃を決めている。季節の花を活け季節感を味わっている。	新築の木造平屋建ての事業所で、佐賀県産の木材を使用している。南面にリビング兼食堂を広く取り、三方がガラス戸で明るく、外の景色が一望できる。キッチン、対面式で見守りしながら調理が出来る。廊下の天井は高く、自然の採光を取り入れた設えである。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	居間で過して頂く利用者の輪に職員も参加し利用者に快適に過して頂くと共に体調変化にも配慮する。面会の時には必要に応じて利用者の部屋で面会をしてもらっている。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	自分の居室が分かるように顔写真を掲げている。居室の持ち込みは愛着を持たれていた品物を自由に制限せずに居心地よく過ごせるよう配慮している。	居室の入り口には、本人の顔写真を掲げ、自分の居室が分かるようにしている。物入れの開き戸も共用倉庫と同じ色彩で、落ち着いた雰囲気である。各居室は、家族との写真やお位牌、持ち物を置いて、居心地よく過ごせる配慮をしている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	廊下、トイレ浴室等への手すりを設け安全に移動できるように配慮している。浴室は電動椅子により安全で快適な入浴が出来るよう努めている。		

V. サービスの成果に関する項目(目標指標項目)アウトカム項目)(事業所記入)  
 ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓該当するものに○印をつけてください	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。  (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の
			2. 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。  (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある
			2. 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。  (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。  (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。  (参考項目:49)		1. ほぼ全ての利用者が
		○	2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。  (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓ 該当するものに○印をつけてください	
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。  (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。  (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と
			2. 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。  (参考項目:2,20)		1. ほぼ毎日のように
		○	2. 数日に1回程度ある
			3. たまに
			4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。  (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている
			2. 少しずつ増えている
			3. あまり増えていない
			4. 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。  (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が
			2. 職員の2/3くらいが
			3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1. ほぼ全ての家族等が
			2. 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない